広報

さめがわ

1998 OCT
10
平成10年 No.538



座談会

もっとスポーツを楽しもう

近年、村の体育施設の利用状況が著しく低迷し続けています。果たして何が原因なのでしょうか。誰もが気軽にスポーツを楽しむには何が必要なのでしょうか。今月号では、十月十日の「体育の日」にちなみ、村教育委員会生涯学習課の木村真一社会教育主事が司会となり、村内のスポーツ指導者、愛好者が集まり、村のスポーツ振興について話し合いました。

●出席者（順不同・敬称略）
鷲野谷重一――村体育指導委員会長
小松　照義――少林寺拳法連盟福島鮫川支部代表
矢吹　和浩――村スポーツ教室参加者代表
岡部清代枝――国体女子サッカー福島県強化選手
鈴木由佳里――バレーボールチーム「フェイバリッツ」所属
●司会者
木村　真一――村教育委員会生涯学習課社会教育主事

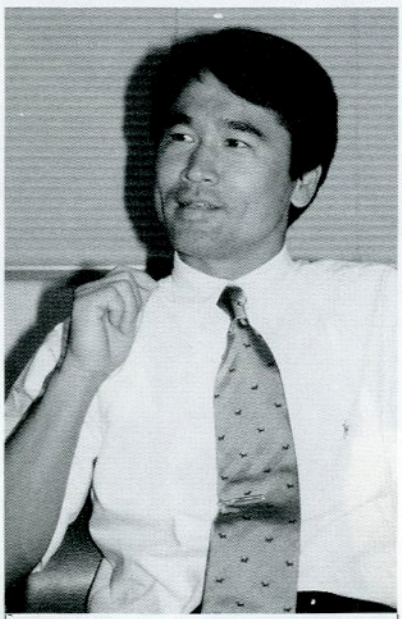
可能性に出会わせてくれる

司会　本日は、お忙しいところお集りいただきありがとうございました。今日は、皆さんが日ごろ実践している、あるいは考えていることをお話していただきたいと思います。

初めに、皆さんにとってスポーツとは何なのかをお話しいただきたいと思います。

鷲野谷　私は決してスポーツは上手ではないのですが、体育指導委員を二十二年務めていて、人と接することが楽しみで今までやってきました。

小松　私は少林寺拳法を始めてから二十三年ほど経つんです。学生時代の先輩が同じ会社にいて、誘われたのがきっかけでした。途中で嫌になったこともありましたが、人との出会いがあり、仲間がいたから乗り越えてこられたと思います。私はあまりスポーツは得意ではないのですが、自分にもできるんだという可能性に出会わせてくれたのが少林寺拳法だ



司会・木村真一さん
きむら・しんいち　村教育委員会生涯学習課に勤務。社会教育主事（スポーツ担当・県派遣）として村のスポーツ振興に尽力。38歳。



小松　照義さん
こまつ・てるよし　大字赤坂中野字新宿在住。少林寺拳法連盟福島鮫川支部代表。道場を開き、週2回少年団の指導に当たる。41歳。



鈴木由佳里さん
すずき・ゆかり　大字赤坂西野字西在住。バレーボールチーム「フェイバリッツ」のほか、浅川町のインディアカチームに所属。22歳。

ったんですよ。自分の人生を変えるような事がスポーツにはあると思うし、実際に体感してきましたから、それを子どもたちに伝えたいと思ったことが、道場を自分で開いてみようと思ったきっかけでした。

矢吹　スポーツは学生のころに少しやったぐらいで、社会に出てからは全然やっていなかったんです。でも、子どもができて、子どもと一緒にかできればいいなと思ったのが、スポーツ教室に参加したきっかけでしたね。いろんなスポーツをしてみて、子ども自身がずっと続けられるものを見つけられればと思い参加したわけですが、まだまだこれからですね。スポーツ教室も、もっといろんな種目を取り入れてくれればと思います。

岡部　私自身、小さいころからスポーツが好きだったんです。小学五年のときにバレーボールを始めて、高校時代にはインターハイにも出させていただいたんです。スポーツは私にとって中心的な部分ですので、もう少し詳しく勉強したいと思い体育大学に進学したんです。

鈴木　私は、西野のバレーボールチームに入っているんです。学生時代にバレーボールをやっていたこともあって、近所の人に誘われたのがきっかけでした。仕事の関係上、どうしても練習に行くのが遅くなってしまうんですが、みんな待っててくれるので、楽しく続けています。バレーボール以外にもインディアカもやっているんですが、それも誰かに誘われて始めたんです。仲間に会うのが楽しみで続けています。

きっかけづくりと指導者

司会　スポーツをしたいんだけど時間やきっかけがないという人が潜在的にたくさんいると思うんです。自分自身がやって楽しいから、ほかの人にもやってもらいたいということもありますよね。スポーツ教室も一つのきっかけだと思うんですが。

岡部　昔は、勝つことを目標とした競技スポーツという考え方が大きかったと思いますが、今は誰でもできるスポーツという考え方に変わってきています。スポーツの良さというのは、人との交流ができるということだと思います。

　私が大学で勉強してきて、スポーツは誰でもできるということを、すごく感じたんですが、きっかけづくりが難しいと思うんです。そのきっかけをつくるのが、地域で行うスポーツ教室だと思いますね。村のスポーツ教室に私も何度か参加させてもらったのですが、指導者が大変少ないと思いました。詳しく教えてくれる人がいないので、回を重ねるごとに参加者が少なくなってしまうと思うんですよ。初心者として参加する人は、やり方やルールが分からないわけですから、練習の仕方を一から教えてくれる指導者が大切だと思うんです。どうすれば技術が上がっていくかというのが最初の段階だと思うんです。少しでも上達すれば、それが楽しいと感じると思うんですよ。

矢吹　最初は参加しずらいという雰囲気がありますね。参加者のほとんどは、誘い合って何人かで参加しているので、一人で参加するには勇気がいると思います。

　私の場合、家族で参加しているので何とか参加できたような感じですね。

スポーツを通した人づくり



鷲野谷重一さん
さぎのや・しげかず　大字富田字中沢在住。村体育指導委員会長のほか、ふくしま駅伝鮫川村選手団の監督を務める。47歳。

司会　小松さんは、少林寺拳法をいろんな人に紹介したいという観点からどのように思いますか。

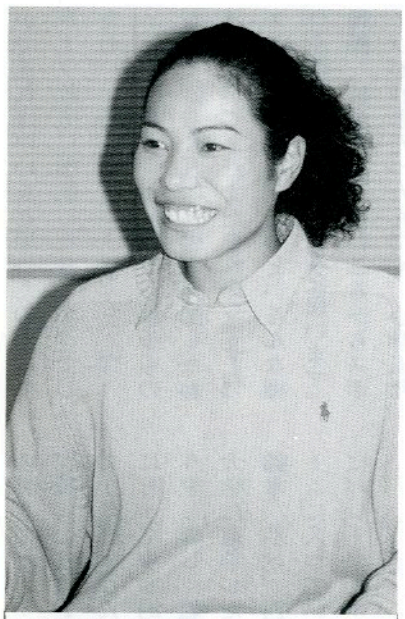
小松　女性の方でも少林寺拳法をやってみたいという人が結構いるんですが、どうしても格闘技という見方をしてしまっているようなんです。ですから、男性も「今さら…」というふうに思ってしまうようなんです。そのように言ってくれる人は本当にやりたい人なので、そういう人には「何時からやっていますので来てください」ではなくて、待ち合わせして一緒に連れてくるようにしています。自分一人で行動を起こして参加するということはなかなか難しいですから。少林寺拳法は、理解されていない部分が多分にありますからね。見てみると、結構和気あいあいとやっているという雰囲気が分かってもらえると思うんですね。

司会　少林寺拳法の皆さんは、夏の県大会で活躍されて、十一月に全国大会ということで素晴らしい活動をされていますね。先ほど岡部さんがスポーツ教室には指導者がいないというご指摘をされましたが、それに比べると少林寺拳法には素晴らしい指導者がいて、段階を追って丁寧に教えてくれているように感じますね。

　スポーツ教室は、体育指導委員に指導者として活躍してもらい、活性化するというねらいもあるんですが。

鷲野谷　岡部さんからご指摘のあった指導者の問題ですが、いくつかの教室をやる中で、指導する資格を持っている人がいないんです。ですから、体育指導委員としての自覚を持って、資格取得講習会などに積極的に参加しなければならないですね。

司会　一昔前までは、体育指導委員は、自分の得意なものだけを教えていればいいという時代があったようですが、ここ数年は、スポーツを通した人づくり、村づくりという考えに変わっています。そうすると、こ



岡部清代枝さん
おかべ・きよえ　大字富田字前沼在住。東京女子体育大学卒。現在、国体女子サッカー福島県強化選手として活躍中。27歳。

スポーツを通して地域にとけ込む



写真中央が山本さん

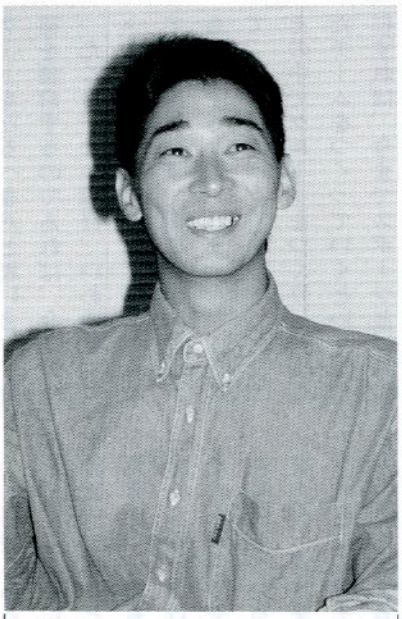
山本三枝子さん（24）
赤坂西野字大塩

　バレーボール中野チームに所属する山本三枝子さんは、三年前に棚倉町から嫁いできました。嫁いだばかりのころは、鮫川村での生活がとても不安だったといいます。しかし、近所の人の誘いでバレーボールチームに入り、知り合いが増え、今ではすっかり地域にとけ込んでいます。

　中学時代にバレーボールの経験があり、若手のホープとして期待を寄せられています。

　そんな三枝子さんは、「家族の理解もあり、また、チームの仲間も明るく、とてもきさくなので週二回の練習が楽しみ。バレーボールは夢中になれるスポーツです」。

れからの体育指導委員は、ただ教えればいいのではなく、どうすれば上達したり、楽しめるのかというコーディネーターとしての役割が、今後さらに期待されているのではないかと思います。これは、各地区の体育協会においても同じだと思います。

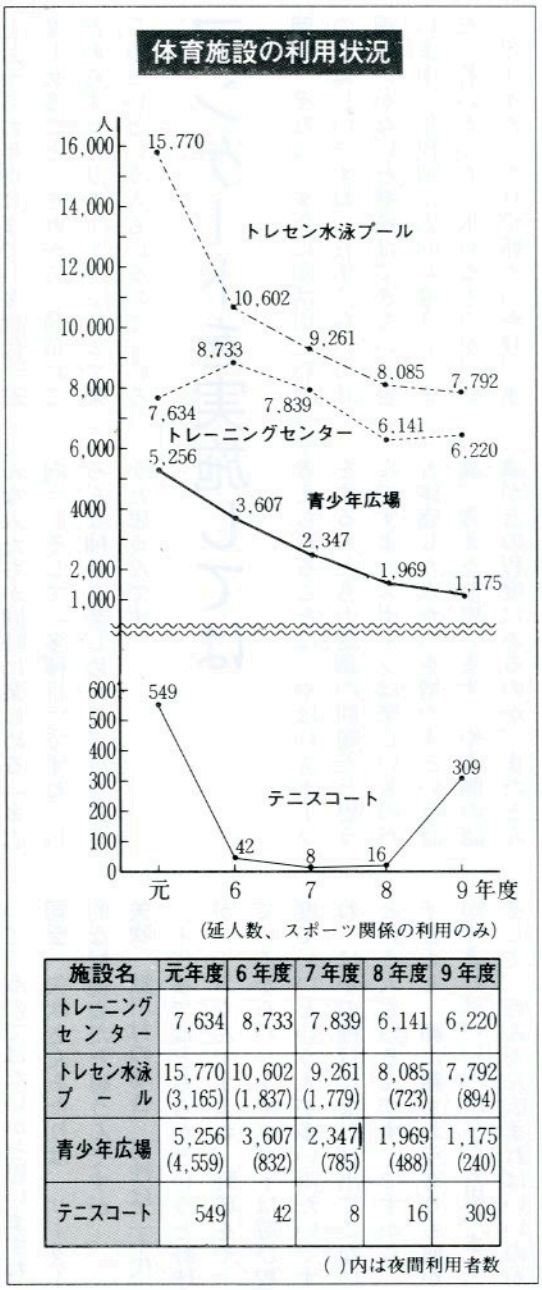


矢吹　和浩さん
やぶき・かずひろ　大字赤坂東野字遠ケ竜在住。村スポーツ教室に、家族そろって積極的に参加。学生時代は卓球部に所属。29歳

「多世代」「多志向」「多種目」

鷲野谷　富田地区の体育協会会員が五十人程度に減ってしまったんです。後継者がいない上に、昔スポーツをやっていた人が高齢になってしまったということもあるんです。それと、外に出るのがおっくうだということもあるようですね。以前までは、富田の大会といえばソフトボールとバレーボールしかやっていなかったんですが、いつか限界がくるということで、グランドゴルフをやってみたところ、六十八歳の人が参加してくれたんですよ。高齢者でも気軽に参加できるスポーツも取り入れていいのではないかということで、ここ数年はやっているんですが。

司会　いろいろな年代の人が気軽に楽しめるというのも、これからは必要なのかなと思います。まずは、子



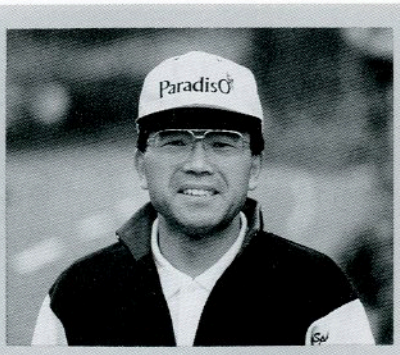
（延人数、スポーツ関係の利用のみ）

施設名	元年度	6年度	7年度	8年度	9年度
トレーニングセンター	7,634	8,733	7,839	6,141	6,220
トレセン水泳プール	15,770 (3,165)	10,602 (1,837)	9,261 (1,779)	8,085 (723)	7,792 (894)
青少年広場	5,256 (4,559)	3,607 (832)	2,347 (785)	1,969 (488)	1,175 (240)
テニスコート	549	42	8	16	309

（）内は夜間利用者数

心地よい汗 爽快感がたまらない

高坂　勝己さん（55）
赤坂西野字中



取材の日も、トレーニングウエアに身を包み、ジョギングで汗を流す高坂勝己さんの姿がありました。

中学時代に野球を始め、社会人になってからはピッチャーとして活躍。足腰のトレーニングにと、二十歳代のころから毎日欠かさず走り続けてきました。

現在は、壮年野球チーム「石川クラブ」の監督を務め、今でも週に三、四日は朝の六時ごろから走っています。

走る目的が「トレーニング」から「健康維持」に変わったという勝己さんは、「心地よい汗を流す爽快感がたまらない。今後もできる限り続けていきたいです」。

どもからお年寄りまで「多世代」が楽しめること。それから、勝負にこだわらずレクリエーションとして楽しみたいという人もいるので、いろんな人たちが同時に楽しめる「多志向」。そして「多種目」ですね。いろんな種目を楽しめたらどうだろうかと思うんです。

アンケートを実施しては

岡部　それは、来年に即活用というのは難しいですね。五年くらいの計画でいかないと継続はできないと思います。年代別に志向が違うし、また、若い人でも、求めるものがバレーボールだったり卓球だったり、水泳かもしれないので、年代別にアンケートをとるべきだと思います。教室を運営するのであれば、今までやったことがない種目、いわゆる「ニュースポーツ」をどんどん取り入れていけば、今まで参加しなかった人も参加するかもしれませんね。そして、来年に継続させていくためには、その中でグループをつくり、独立したチームをつくっていくというふうにすれば、今までスポーツとは無縁だったけれど、そのスポーツからはグループがつくれて、来年に移行できる。そして、二年目、三年目には土台をつくり形づくっていけば、チームとして独立していくのではないかと思うんです。

小松　私も、システム的にはそのとおりだと思います。ただ、もう一つ考えられることは、やはりスポーツをする人たちの認識の問題だと思うんですよ。スポーツは楽しいものだと体感した人たちを増やすという認識、考えだと思います。やる側の認識がどの程度にあるのか、またどんな気持ちでいるのか、そこを変えていく必要もあるのではないでしょうか。そのためには、指導者をより多く養成することだと思います。

岡部　指導者も、若い年代を育てていかないといけないと思います。多くの人が中学や高校まではスポーツを経験していると思うので、「リーダーバンク」をつくってピックアップすれば結構そろうと思います。その中で、指導者養成の講習会を開いたりしたら、どんどんいいものになってくるのではないかと思いますね。

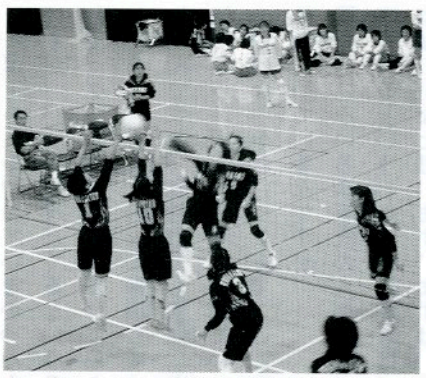
司会　矢吹さんあたりは、リーダー的な候補者だと思うんですが。

矢吹　鮫川村の場合、男性は二十代、三十代まではどちらかというと野球がメーンなんですよね。野球をやっているからバレーやソフトは遊び程度でいいという人が多いみたいですね。ほかの種目になれば出てこないという人もいるんです。ですから、子どもと一緒に親もお年寄りも何かができればいいのかなとも思います。そして、だんだん広まればいいのかなと思いますね。

気軽に楽しめる雰囲気と場を

司会　最後に、これからスポーツを広めていく、あるいは楽しむ上で、考えることを何でもお話しください。

鷲野谷　先ほどお話が出たように、リーダーバンク的なものを活用して、二十代、三十代、四十代、五十代とそれぞれの年代でやる気があるときに指導的な立場に立てば、専門的な



郡バレーボール大会から

一番大切なのは続けること



石井テルエさん(70)
赤坂中野字道少田

ウォーキングは、いつでも誰でも気軽にできるスポーツです。

石井テルエさんは、体力づくりのために、八年ほど前からウォーキングを毎日欠かさず続けています。約四十分間、少し汗ばむくらいに歩きます。そのおかげで、とても体調がよいとか。歩くことで体の健康が保たれているようです。

「歩いたあとは、ごはんがおいしく食べられます」と笑顔で話すテルエさん。「一番大切なのは、続けることではないでしょうか」。

そして最後に一言。「季節ごとに、風のにおいを感じながら歩くことは、とても気持ちがいいものです」。

一人ひとりの意識向上が必要　鷲野谷
知識の「共有化」を推進したい　小松
子どもと一緒に楽しみたい　矢吹
何よりも指導者の存在です　岡部
仲間に会うのが楽しみです　鈴木
スポーツ教室を一つのきっかけに　木村



スポーツは楽しくなくちゃ

司会　貴重なご意見ありがとうございました。皆様のご意見を参考に、今後のスポーツの振興に役立てたいと思います。

小松　私は、指導者の養成をするような活動を、行政側でもっともっとしていただいて、「共有化」という活動をしたいと思います。いろんな種目の指導者同士が、それぞれに持っているノウハウなり知識を共有化しようということで、そして、幅広く広げていこうという考え方です。

矢吹　スポーツ教室の参加者の一人として、私たちが経験したことを気軽に誰にでも話せるような教室にしたいですね。

岡部　スポーツをしていなかった人たちが気軽に楽しめる雰囲気と、場を提供することが最初だと思うので、きっかけと場の提供の仕方、そして何よりも指導者ですね。もう一つは、地域の人たちと密接につながるパイプ役がいないので、下の声がなかなか上がってこないのではと思うんですよ。そのパイプ役になるのは、たぶんトレーニングセンターだと思います。そこに常時、体育に関して直接指導なり相談できる人を設置する必要があると思います。

鈴木　私としては、同じ年代の人たちと一緒に、もっとスポーツを楽しみたいと思うんですが…。でも、同じぐらいの年齢の人が周りにいないという現状ですね。

司会　貴重なご意見ありがとうございました。皆様のご意見を参考に、今後のスポーツの振興に役立てたいと思います。

指導もできると思います。行政としてはもう少し予算をとってもらうことが一つと、私たち一人ひとりの意識の向上が必要なのかなと思います。

一つのボールに集中し熱くなれる



味原　寛一さん（37）
赤坂東野字内ケ竜

現在、村野球連盟の会長を務め、SBC（鮫川ベースボールクラブ）に所属する味原寛一さんは、チームのキャプテンを務めたあと、世話人としてチームをまとめています。

社会人になってから、知人に誘われ始めたという野球ですが、今では一番好きなスポーツだとか。「みんなが一つのボールに集中し熱くなれる」と野球の魅力について話します。

棚倉地区早起き野球で、常に上位入賞を果たしていますが、目標はあくまで優勝。

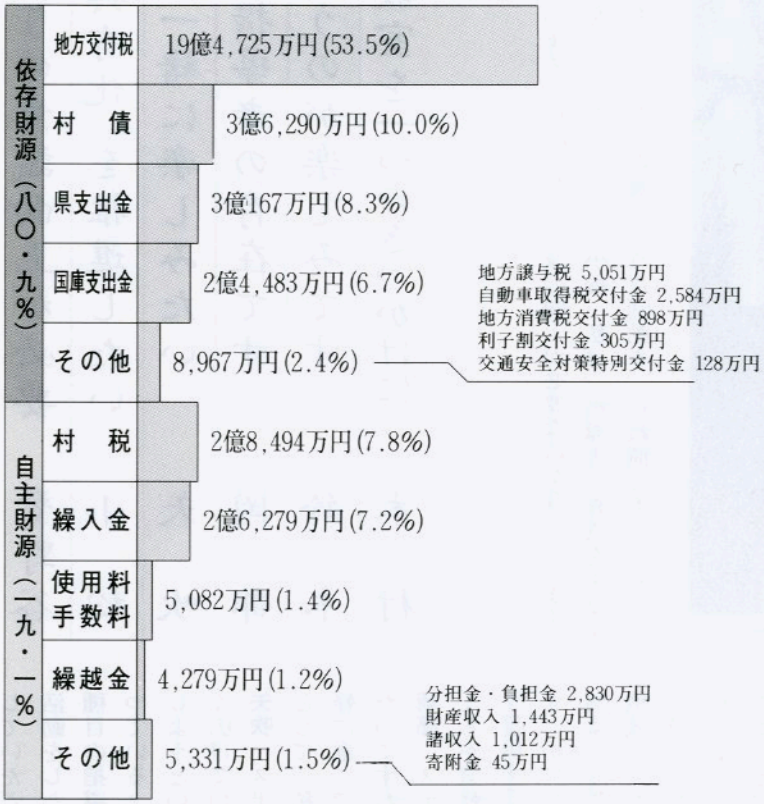
取材後、「あっ、若くてやる気のある人を募集していますって書いて…」と、さすが世話人。チームの宣伝も忘れません。

むら
たいむら”を目指して

平成9年度の決算状況をお知らせします

これが村が使ったお金です

村の一般会計と六つの特別会計の平成九年度決算（平成九年四月～平成十年三月）がまとまり、九月に開かれた定例村議会で承認されました。皆さんに納めていただいた貴重な税金や、国・県からの補助金などが、どのように使われたのか。その概要をお知らせします。



歳入総額

36億4,102万円

歳入の半分以上が地方交付税

平成九年度の一般会計の決算は、歳入総額三十六億四千百二万円、歳出総額三十五億八千五百七十四万円で、五千五百二十七万円の黒字決算となりました。

歳入は、前年度と比較すると、一億百万円（二・七％）の減額となりました。これは、前年度に実施した山村体験施設や村営住宅の建設、農道整備や災害復旧事業などに伴う村債、国・県支出金が減少したことによるものです。

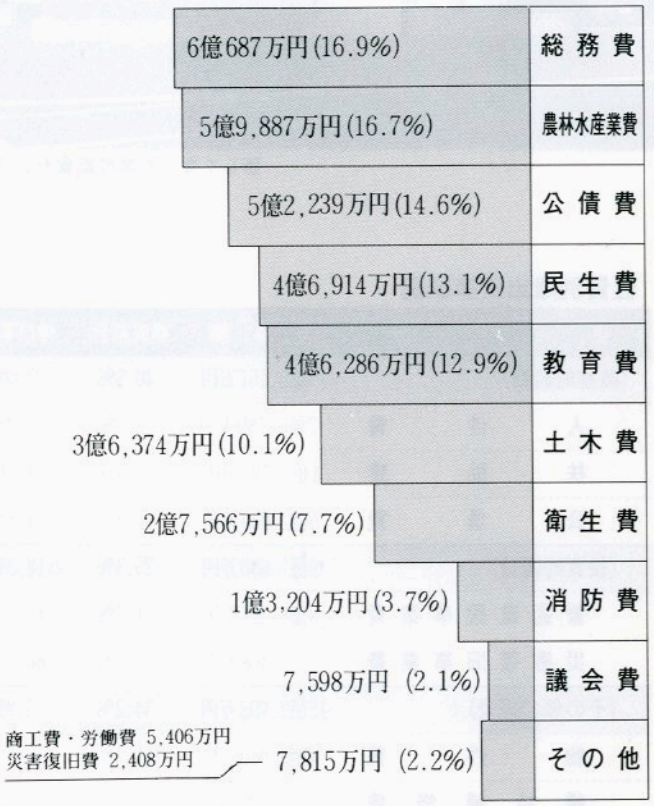
科目別にみると、地方交付税が半分以上を占める五三・五％となっています。地方交付税とは、全国の市町村が一定の水準で事業を行えるように、自主財源で足りない部分を国から配分されるお金をいいます。

次に多いのが村債（借金）で、全

“住んでみたい
住み続け

歳入	前年度との増減	伸び率	村民1人当たり
(依存財源)	△1億8,954万円	△6.0%	599,581円
地方交付税	4,745万円	2.5%	396,266円
村債	△1億6,600万円	△31.4%	73,850円
県支出金	△2,871万円	△8.7%	61,391円
国庫支出金	△3,338万円	△12.2%	49,825円
地方譲与税	△1,230万円	△19.6%	10,280円
自動車取得税交付金	△416万円	△13.9%	5,259円
地方消費税交付金	898万円	皆増	1,829円
利子割交付金	△94万円	△23.7%	621円
交通安全対策特別交付金	△1万円	1.4%	260円
(自主財源)	8,854万円	14.6%	141,368円
村税	1,954万円	7.4%	57,987円
繰入金	7,794万円	42.2%	53,479円
使用料及び手数料	252万円	5.2%	10,342円
繰越金	△1,437万円	△25.1%	8,710円
分担金及び負担金	312万円	12.4%	5,760円
財産収入	91万円	6.8%	2,938円
諸収入	△152万円	△13.1%	2,061円
寄附金	40万円	800.0%	92円
合計	△1億 100万円	△2.7%	740,949円

歳出	前年度との増減	伸び率	村民1人当たり
総務費	5,251万円	9.5%	123,500円
農林水産業費	△1億 9万円	△14.3%	121,871円
公債費	2,432万円	4.9%	106,308円
民生費	△287万円	△0.6%	95,471円
数育費	1億3,516万円	41.2%	94,192円
土木費	△1億2,474万円	△25.5%	74,023円
衛生費	1,052万円	4.0%	56,097円
消防費	△881万円	6.3%	26,870円
議会費	320万円	4.4%	15,463円
商工費	△438万円	△7.5%	10,969円
災害復旧費	△9,827万円	△80.3%	4,902円
労働費	△2万円	△13.6%	34円
合計	△1億1,348万円	△3.1%	729,701円



歳出総額

35億8,574万円

体の一〇・〇%を占めていますが、災害復旧事業債や公営住宅建設事業債などが減少したことにより、前年度より三一・四%減少しています。

また、大きな事業を行う場合、村だけでは負担が大きくなるため、国や県が事業費の一部を負担する県支出金として三億百六十七万円、国庫支出金として二億四千四百八十三万円が交付されました。

このように、国や県などから定められた額を交付されたり、割り当てられたお金を「依存財源」といい、歳入全体の八〇・九%を占めています。

依存財源とは逆に、村が自分の手で確保できる収入を「自主財源」といい、皆さんに納めていただく村税、基金からの繰入金、預金利子などが含まれます。

村税は、前年度と比較し七・四%の増加となっています。これは、前年度において個人村民税の特別減税が実施されたことなどが主な要因となっています。

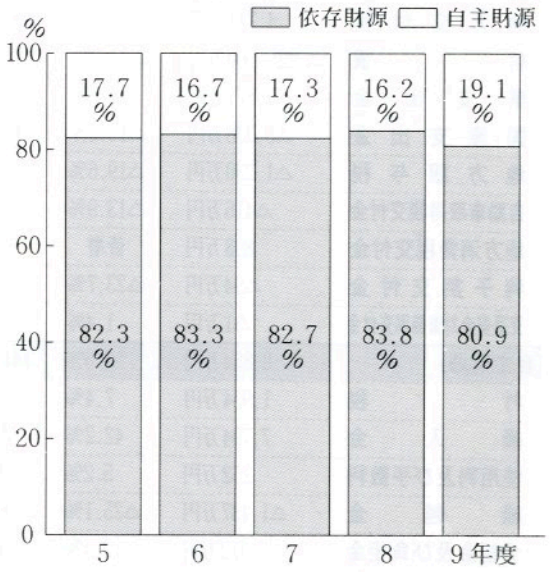
学校給食センターを改築しました

歳出は、前年度に比べ一億一千三百四十八万円（三一・一%）の減額となりました。



新しくなった学校給食センター

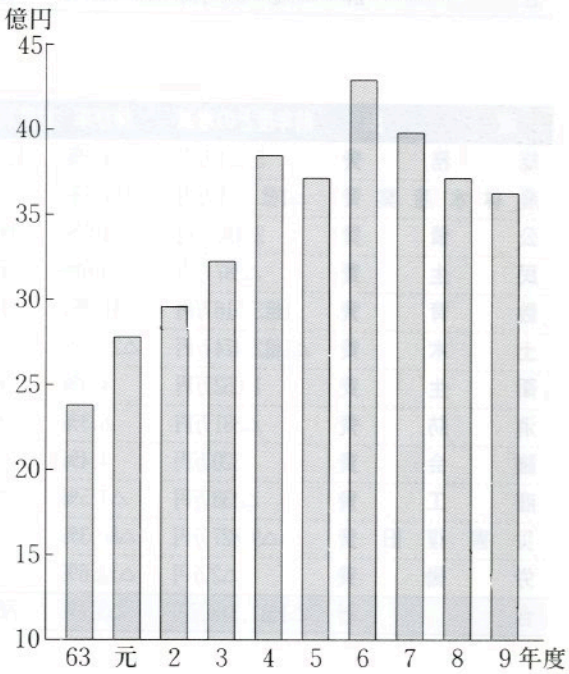
年度別財源の内訳



性質別歳出決算状況

区分	決算額	構成割合	伸び率
（義務的経費）	14億5,151万円	40.5%	2.0%
人件費	7億9,189万円	22.1%	△0.2%
扶助費	1億3,721万円	3.8%	4.3%
公債費	5億2,239万円	14.6%	4.8%
（投資的経費）	9億 630万円	25.3%	△18.3%
普通建設事業費	8億8,221万円	24.6%	△10.6%
災害復旧事業費	2,408万円	0.7%	△80.3%
（その他の経費）	12億2,793万円	34.2%	5.2%
物件費	4億1,910万円	11.7%	1.5%
維持補修費	1,923万円	0.5%	△2.5%
補助費等	3億2,016万円	8.9%	1.9%
投資及び出資金貸付金	16万円	—	△67.7%
積立金	2億6,169万円	7.3%	35.3%
繰出金	2億 757万円	5.8%	△8.3%
合計	35億8,574万円	100.0%	△3.1%

年度別歳出決算額の推移



歳出のトップは総務費で、全体の一六・九%を占めています。これは、役場庁舎建設基金や財政調整基金（予期しない収入の減少や、災害などにより思わぬ支出増加があったときに備えての基金）への積立金が、前年度より六千八百三十万円増加したことによるものです。

次に多いのが農林水産業費で、全体の一六・七%となっています。その中で、農道四路線、農業集落道二路線、林道三路線、作業道一路線の整備や、農村交流施設「ほっとはうす・さめがわ」の運営費（運営費の財源のうち、使用料収入が前年度に比べ一一・三%の増加）などが大きな割合を占めています。

教育費は、学校給食センターの改築工事に一億四千五百五十九万円の支出があったため、前年度に比べ四一・二%の高い伸び率となり、平成九年度の特徴となっています。

以上が一般会計決算の概要です。

村民一人当たり72万9千円を支出

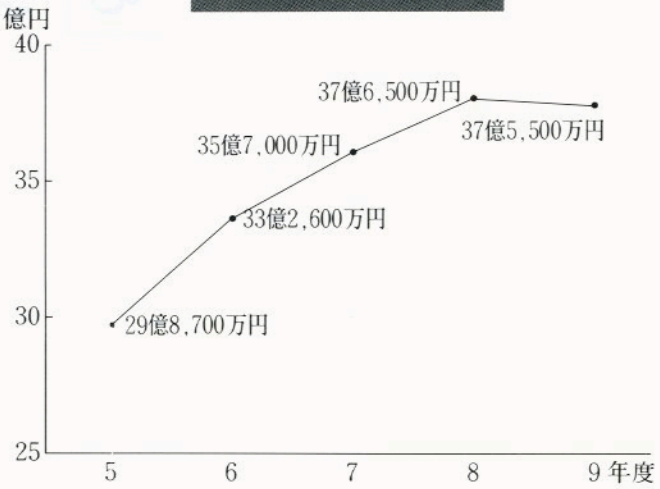
村税・歳出の決算額を、平成十年三月末現在の人口（四千九百十四人）で割ると、村税が村民一人当たり五万七千九百八十七円、歳出が七十二万九千七百一円となります。

平成９年度一般会計　主な支出状況

（単位：万円）

役場庁舎建設基金の積立金として	8,800
生活路線バス運行のために	649
「広報さめがわ」発行のために	380
高齢者総合福祉センター「ひだまり荘」の運営のために	5,788
住民健康診査の費用として(人間ドックを含む)	2,135
合併処理浄化槽設置事業補助金として(23基)	2,265
東白斎苑(火葬場)運営の負担金として	360
東白衛生組合運営費負担金として	7,645
ふるさと水と土保全事業負担金として（戸倉地区、水車小屋ほか）	750
高付加価値米産地育成事業補助金（東石ライスセンター、渡瀬南部ミニライスセンター）	1,169
県営農道整備事業負担金（東白川地区、蒲谷地地区、東野中部地区）	945
地籍調査のために	8,104
農道４路線整備（中沢草木線、笊内線、高薮線、反谷地線）	8,000
農業集落道２路線整備（伊柳沢西線、中沢関口線）	4,000
農村交流施設「ほっとはうす・さめがわ」運営のために	3,178
林道３路線改良舗装等（岩野草下線、東前田線、火灯石塩倉線）	5,395
作業道１路線開設（梨木平線）	1,771
高原の鮫川うまいもの祭りのために	470
村道２路線改良舗装（見渡酒垂線、巡ケ作宿ノ入線）	2億7,964
防火水槽設置のために（３基）	1,064
白河地方広域市町村圏整備組合常備消防負担金として	8,090
鮫川村史編さんのために	2,253
学校給食センター改築のために	1億4,559
災害復旧のために（８年災　河川５か所、道路４か所）	1,718
村の借入金返済のために	5億2,164

村の借入金残高の推移



村税の決算状況

種　類	決算額	前年度との増減	伸び率	収納率
村民税	1億797万円	1,849万円	20.7%	100.0%
固定資産税	1億5,517万円	△67万円	△0.4%	100.0%
軽自動車税	805万円	24万円	3.1%	100.0%
村たばこ税	1,370万円	144万円	11.8%	100.0%
入湯税	3万円	3万円	－	100.0%
合　計	2億8,494万円	1,951万円	7.4%	100.0%

特別会計の決算状況

会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険(事業勘定)	3億8,994万円	3億7,042万円	1,952万円
(直診勘定)	8,276万円	7,955万円	320万円
老人保健	4億6,167万円	4億5,277万円	890万円
簡易水道事業	2億6,085万円	2億5,851万円	234万円
工場団地造成事業	2,517万円	2,483万円	34万円
村営バス事業	1,249万円	1,129万円	120万円
集落排水事業	2億7,276万円	2億7,101万円	175万円
計	15億569万円	14億6,839万円	3,729万円

特別会計は生活環境を重視

国民健康保険、老人保健、簡易水道事業、工場団地造成事業、村営バス事業、集落排水事業の六つの特別会計の決算は、別表のとおりです。

平成七年度に着手した中野地区農業集落排水事業（下水道）は、引き続き事業を推進し、二億七千百一万円を支出。また、簡易水道の拡張などに二億五千八百五十一万円を支出しました。さらに、村営バス「あおぞら」の運行に一千百二十九万円を支出しました。

むらのできごと

広報にあなたの写真が載りましたらさしあげますのでご連絡ください。
（☎49－3111 内線214）

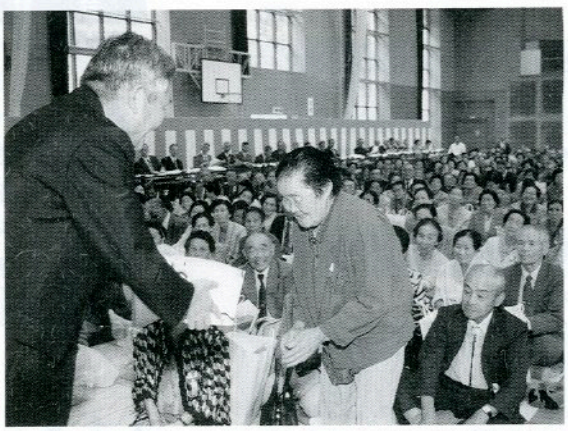
平成10年度村敬老会

九月十五日、平成十年度鮫川村敬老会を農業者トレーニングセンターで開催しました。昨年より二十九人多い九百六人（男性三百四十九人、女性五百五十七人）を招待しました。

式では、芳賀村長が「健やかに安心して暮らせる長寿社会を築くため一層の努力を重ねます」とあいさつ。引き続き、米寿、八十歳到達者、金婚夫婦、要援護高齢者介護者に記念品や感謝状が贈られました。

藤田村議会議長ら来賓が祝辞を述べたあと、藤田さゆりさん（渡瀬小六年）と湯坐弘君（鮫川中三年）が敬老の日にちなんだ作文を朗読。高齢者を代表して蛭田フサさん（田苗下）が謝辞を述べました。

アトラクションでは、村ふるさと文化芸能クラブによる舞踊や、劇団やまぶき（住民課職員）による寸劇などが披露され、盛んな拍手が送られていました。



長寿を祝い記念品を贈呈

奥の里山in遠ケ竜
魚つり・つかみどり大会



魚を追う参加者

遠ケ竜若衆会（森元良会長、会員11人）主催の「奥の里山in遠ケ竜『魚つり・つかみどり大会』」は９月12日、遠ケ竜川で行われました。

川や自然に親しみながら地域を見直そうと企画されたもので、今年で２回目。ニジマス100㌔、ヤマメ10㌔のほか、ウナギや鯉も放流されました。

大会には、村内外から約200人が訪れ、釣りやつかみどりを通して、地区の人たちと交流を深めました。

ぼく、歯医者さんです。

ご意見をお寄せください



鮫川歯科診療所
坂井　聡 先生

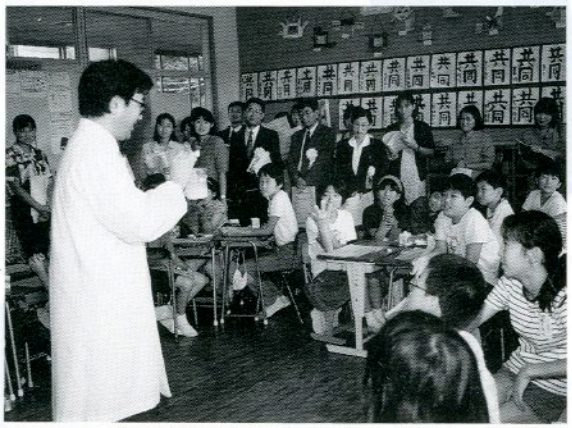
多くの患者さんが歯科医院を訪れる際、痛みがあったり、歯が取れたり、どうしようもない状態になってから来院されるものです。そのとき、患者さんの苦痛を取り除くことは、私たち歯科医の務めです。しかし、それは歯科治療の最終目標ではありません。苦痛の除去は、歯科治療の最初の一歩、ほんの始まりの行為です。

歯科の最終目標は、むし歯がなく、歯槽膿漏にならず、正常な歯並びで、一生健康に過ごせること。一度健康が壊された場合（むし歯、歯槽膿漏、事故、その他などで）は、人工的に修復することになります。

歯科治療はそれ自体、命にかかわるような重篤でないことがほとんどです。しかし歯

歯・口の健康つくり研究発表会

村教育委員会と鮫川小学校主催の「歯・口の健康つくり研究発表会」は九月十七日、鮫川小学校を会場に行われました。



牛の歯を使ったユニークな実験

同校は、平成九・十年度の文部省研究校に指定され、「自分の健康をみつめ、実践する児童の育成～健康な歯と口をめざして～」を研究テーマに、歯と口の健康に関する各種活動を展開しています。

発表会には、県内の教職員など約百四十人が出席。公開授業や研究発表などが行われました。公開授業では、牛の歯を使い「むし歯」と「唾液の働き」を示す実験や、尿糖試験紙でおやつに含まれる糖分を調べる授業など、趣向を凝らした取り組みが公開されました。

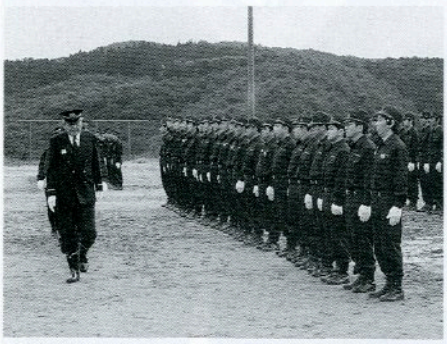
また、研究発表では、研修主任の鈴木ゆかり教諭が研究経過を報告し、地域の連携や、複数の教師が一つの授業を受け持つ「T・T(チーム・ティーチング)」の重要性を強調しました。

消防団秋季検閲

鮫川村消防団秋季検閲は9月27日、団員342人、岩野草婦人消防隊員が参加し、青少年広場で行われました。

国旗掲揚、無火災祈願の黙とうのあと、統監の芳賀村長が「常に機械器具の点検を怠ることなく、消防技術の錬磨に努められ、災害即応の万全を期してほしい」と訓示。続いて、通常点検、機械器具点検、ラッパ隊訓練などが行われました。

検閲後、分団対抗水勢競技が行われ、小型ポンプの部で第2分団、ポンプ自動車の部で第5分団が優勝しました。



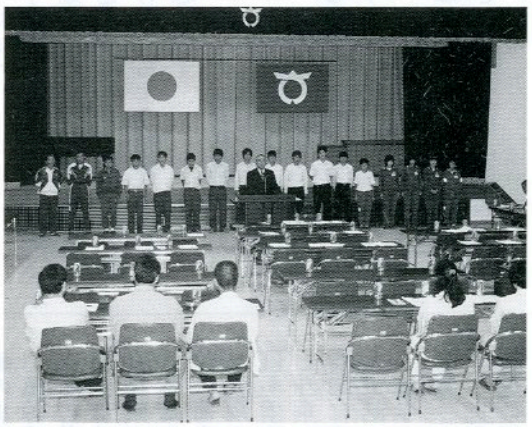
通常点検を受ける団員ら

ふくしま駅伝結団式

第十回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（ふくしま駅伝）鮫川村チームの結団式が九月十八日、山村開発センターで行われました。

式には、選手団、関係者など約五十人が出席。ふくしま駅伝鮫川村本部長の芳賀村長が「健康に留意し、万全な体調で大会に臨んでください」とあいさつしました。選手団紹介のあと、藤田一夫団長、鷲野谷重一監督、選手代表の森田浩二君（青生野）があいさつし健闘を誓いました。

大会は、十一月二十二日、白河総合運動公園をスタート、県庁をゴールとする十五区間、百二・九キロのコースで開かれます。鮫川村チームは今後、練習会やコース試走などを行い、大会に臨みます。



健闘を誓う選手団

は、日常生活を快適に過ごし、生活の質（クオリティーオブライフ）を向上させるためには、なくてはならない器官です。

私は、歯科治療を通して、患者さんがクオリティーオブライフを向上されることが基本理念としています。

ところが、私が鮫川村に来て四年が経とうとしていますが、最近、患者さんの思いと私の思いとに大きな溝があるようで、それを埋めきれないような感覚にさいなまれています。

そこで私からのお願いです。皆様が当院や歯科治療にどんな思いを寄せているのでしょうか、良いこと、悪いこと、いやみ、つらみ、記名、無記名、何でも構いません。皆様の貴重なご意見をお聞かせ願えたらと思います。役場（広報）経由でも当院直接でも構いません。ご意見お待ちしています。

◇　◇

鮫川歯科診療所（〒963-8401　大字赤坂中野字新宿一八五-一　☎49-2149）

ふれあいひろば





村民リレー ⑦

鮫川たんぽぽの家の通所者と共に

専門学校在学中に、障害者スポーツ大会「パラリンピック」にボランティアとして参加しました。二日間という短い期間でしたが、一人ひとりの一生懸命な姿にとても感動しました。

今まで、何事に対してもできないとすぐあきらめてしまう私でしたが、やればできるということを教えられたような気がします。それまでは、老人福祉関係の仕事に就きたいという思いで学んできましたが、いろいろな障害を持った方々と二日間を共にし、障害者に携わる仕事に就きたいと、このボランティアを通して実感しました。

鮫川たんぽぽの家が開所し、半年が過ぎました。初めのころは不安や戸惑いもありましたが、通所者の明るい笑顔に支えられ、楽しく働いています。

作業学習の指導を通して、働くことの意義を理解し、働く態度、喜びなどを身につけ、将来の生活へつなげられるよう指導していきたいと思います。

また、多くの方々に理解していただき、地域とのかかわりを持ちながら、通所者一人ひとりが楽しく通える施設づくりに努めたいと思います。

◇　◇

次回は、矢吹さんの紹介で、森ワサナさん（遠ケ竜）の登場です。



矢吹祐枝さん

やぶき・さちえ　大字赤坂東野字広畑在住。知的障害者授産施設「鮫川たんぽぽの家」に勤務。趣味はスポーツ（体を動かすこと）。21歳。

俳句

老桑の黒き実や夏祭　中井　恒峯
初秋刀魚母が昔に太顕ち給う　山本　朗史
さよならの声に振り向く夕野分　矢部　正子
梅雨晴間任地の気候気遣える　大池　魚水
釣舟草真赤な海に出ていくの　斉須　信子
草むらに頭出したるきじのひな　金沢三津子
光合成進まぬ稲穂日参す　北條素人坂
雲の喝采松坂投手健斗す　黒田　寿香
五日続きの豪雨の中に佇むか　小山田清哲
スキップの少年剣士十三夜　山本五十鈴

短歌

亡き夫の帽子を被りかざる如秋津とまらす棚田の案山子　森　芳子
職員の言動よろしき窓口にこころ和みて税おさめけり　松本　一郎
霧深く見え隠れする山頂にも八十路のわれの踏破をしるす　鷺野谷　満
梅雨空の明けざる庭に風立ちて梅鉢草が光をこぼす　大竹　華子
雨の止み薄日の差せるわが部屋に風も入り来て風鈴鳴らす　大平　太平
大輪の花のひろがり流れ落つ火に照らされて稲田はそよぐ　坂本　伊紀
長梅雨に稔り少なき稲の穂を雀素知らぬ振りで啄ばむ　坂本　雪絵
孫の帰省知らせる盆の電話かとベルの鳴るたび胸躍らせる　田中　志乃
俄か雨降りそうな雲に薯掘りの手はやすみなし汗垂らしつつ　本郷　チヨ
長雨に裏山高きわが家を案じて娘らのしきりの電話　増子　紗久
一輪車自在に乗れる孫の背に羽をやすめている蝶一つ　松本　由起
十三回忌の姉を偲びつ其れぞれに山墓に焚く香煙の揺れ　中川西静江



仲間たち

レクリエーション ダンスクラブ

会長 岡部由美子・会員30人

村スポーツ教室をきっかけに、今年八月に発足した「レクリエーション・ダンスクラブ」。演歌、ポピュラーソング、アニメソングなど、さまざまな音楽に合わせて踊れる簡単なダンスです。

「レクリエーション・ダンスは、いつでも、どこでも、誰でも楽しめます。興味のある人は、とりあえず練習を見に来てください」と会長の岡部さんは話します。

▼とき…毎週土曜日午後7時▼**ところ**…農業者トレーニングセンター▼**問い合わせ**…岡部由美子さん（☎49-2130）

木陰に来てしずかに慕う面影の笑顔涼しく消ゆることなし　関根　瑞恵

茅葺きの戸倉水車はくるくると繰り出す如し人らの夢を　緑川　理羽

漬ける時期くの字に曲げてはかるなり大根軒に吊りて幾日　関根　美津

活発に動き廻れる孫のいて降りつぐ七日も明るく過ごす　鈴木イミ子

取りこみし洗濯物に宿りしか今朝にたためば蟋蟀一つ　小松セツ子

物忘れしてあれあれと手振りする齢となりぬ今宵もひとつ　赤坂　朝子

秋海棠の艶匂わせてさ庭べに秋の名残りの淡紅ゆるる　蛭田　正

滾ちつつ段なし流るる峡の滝もみずる草木へしぶき散らせり　須藤美代子

わが門に真赤に色づくほほずきでままごと遊び咎めもならず　藤田　末光

東京鮫川会からこんにちは

季節の匂い



田中義一さん
千葉県千葉市在住
赤坂中野字宿ノ入出身

人や自然までが、どうしたことか猛り狂っている。いったいいつからこんなに荒んだ世の中になってしまったのか……。

世紀末の時代に翻弄されているのか、何が起きても不思議はないとさえ思えてくる。

幼少のころにはゆったりと流れていたはずの時間も、まるで何かに追い立てられているように、先を急ぐ旅人のように、あっという間に過ぎ去ってしまうのはなぜだろう。

ふと立ち止まり、振り返ると、幾重もの時の記憶に重なる思い出は、季節の匂いを彷彿とさせ、いつしか心を癒しの世界へと導いてくれる。いや、季節の匂いが思い出の旅へと誘ってくれるのかもしれない。

春には籾がらを田んぼで燃やす匂い、水をはった田んぼの泥の匂い、むせるほどの若葉の匂い。夏にはさまざまな野菜や果物の匂い、農薬散布や葉たばこの匂い。秋は堆肥にする木の葉集めの枯れ葉の匂い。冬は囲炉裏とみかんの匂い。遠い記憶の片隅で幼心に刻み込んだ古郷の匂い。暮らしにはいつもそんな匂いがあり、標本にでもしたくなるほどの方言や習慣に囲まれ、心落ち着く場所がたくさんあったように思う。もし、タイムマシーンに一度だけ乗れるとしたら、いつの時代にセットするだろう。

郷愁を超え、たおやかなるあのころへもう一度旅してみたいと思うのは、私だけだろうか…。

時代が加速するほどに古郷は遠くなり、故に、思いはますます強くなるのかもしれない。何が本当の豊かさなのだろう。

東京鮫川会員の皆さん、あなたも「広報さめがわ」に登場してみませんか。ふるさとへの思い、近況などテーマは自由です。原稿を600字程度にまとめて、総務課広報担当まで写真を添えてお寄せください。

くらしの情報

鮫川村役場　☎49-3111（代表）

催し

第51回村文化祭

第51回鮫川村文化祭を次により開催します。ご家族おそろいでお越しください。

盆栽・山野草合同展
- とき…10月22日（木）～24日（土）
- ところ…山村開発センター

映画会（商工会主催）
- とき…10月31日（土）午後3時
- ところ…山村開発センター



文化講演会講師
伊奈かっぺい

ふるさと文化芸能クラブ発表会
- とき…11月1日（日）午前10時
- ところ…山村開発センター

青少年主張大会
- とき…11月3日（火）午前9時45分
- ところ…山村開発センター

文化講演会
- とき…11月3日（火）午後1時
- ところ…山村開発センター
- 講師…伊奈かっぺい
- 演題…「講演会ごっこ」

婦人会バザー
- とき…11月3日（火）
- ところ…山村開発センター

米消費拡大試食会（備蓄米）
- とき…11月3日（火）
- ところ…山村開発センター

菊花展
- とき…11月6日（金）～8日（日）
- ところ…農業者トレーニングセンター

人形劇
- とき…11月10日（火）午前10時
- ところ…山村開発センター

畜産共進会
- とき…11月11日（水）午前8時
- ところ…村民運動場

JAまつり
- とき…11月14日（土）・15日（日）
- ところ…JA鮫川村構内

俳句会
- とき…11月22日（日）午後零時30分
- ところ…山村開発センター

短歌会・東白川郡短歌大会
- とき…11月28日（土）午前9時
- ところ…村民保養施設「さぎり荘」

村民駅伝競走大会
- とき…11月29日（日）午前8時30分受付開始
- ところ…山村開発センター（午前10時、役場前スタート）

日赤奉仕団炊き出し訓練
- とき…11月29日（日）午前9時
- ところ…山村開発センター

各種展示関係
- とき…10月31日（土）～11月4日（水）
- ところ…農業者トレーニングセンター
- 内容…写真展・さめがわの四季「石像・石碑のある風景」、小・中学校児童生徒作品展、高等学校生徒作品展、公民館事業展、郵便局ふれ愛コーナー、生活工夫展、華道展、老人作品展、色紙展、中井恒峯展、予防ポスター展、水墨画展、一般作品展、ガラス工芸展、パッチワーク展、アクリル画展、米消費拡大展、農業改良展、JA展

◇

〔総合問い合わせ〕総務課総務係（☎内線211）

村の人口

9月1日現在・（ ）は前月比

人口	世帯
4,915人（－4）	1,122戸（＋2）

男	女
2,439人（±0）	2,476人（－4）

今月の納付

- 村県民税　3期分
- 国民健康保険税　5期分
- 国民年金保険料　10月分

納期限　10月26日（月）

（納期内に納めましょう
口座振替の方は残高確認を）

こちら窓口

9月1日から30日までの届け出分

●お誕生おめでとう

地区	赤ちゃんの名前	月／日	保護者
東前田	田子（たご）真理（まり）	8／21	勉
宿ノ入	宗田（そうた）真也（まさや）	9／2	貴
前田	矢吹（やぶき）猛（たける）	9／11	好明
青生野	長井（ながい）瑠香（るか）	9／12	久幸

●おくやみ申し上げます

地区	亡くなられた方	月／日	年齢
新宿	鈴木アサ	9／4	92
沼野沢	本郷榮治	9／14	66
岩野草	根本美枝子	9／23	73

には、約1,370万円が村に納入されました。愛煙家の皆さん、たばこは村内で買いましょう。

保健・衛生

婦人（子宮がん・骨粗しょう症）集団検診

〔日時・場所〕10月30日（金）、午前8時～9時、午後零時30分～1時受付・山村開発センター
〔対象〕30歳以上の希望者
〔費用〕子宮がん、骨粗しょう症とも各500円
〔問い合わせ〕住民課保健係（☎内線235）

献血車来村

〔日時・場所〕10月23日（金）午前9時～11時30分、午後零時30分～4時・役場前
〔その他〕成分献血希望者は、10月16日（金）までに住民課保健係（☎内線235）に連絡してください。

畜犬登録 狂犬病予防接種

〔期日・場所〕10月22日（木）、23日（金）・村内巡回
〔対象〕生後90日以上で、新たに登録する畜犬。4月に予防接種を受けなかった畜犬
〔問い合わせ〕住民課保健係（☎内線235）

年金

保険料の申請免除

国民年金は、二十歳から六十歳まで保険料を納めなければなりませんが、その期間中には、やむを得ない理由で保険料を納められないことも考えられます。

障害年金や生活保護を受けている人は、届け出により法定免除を受けられますが、そのほかに、申請により免除を受けられる場合があります。

〔保険料の申請免除〕病気やけが、失業などの理由で収入が少なく、納めるのが困難な場合は、申請して免除基準に該当すれば保険料が免除されます。
〔問い合わせ〕住民課福祉係（☎内線234）

史・資料を探る

村史編さん室

村史資料を読む④

蒲田道印証文

～戸倉・西山のこと～　第二巻(上)二九七頁

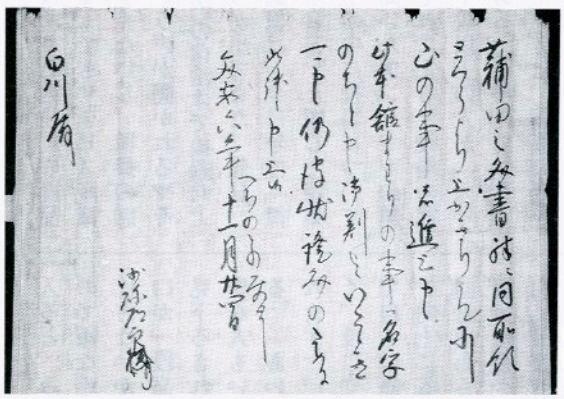
中世資料九八は、東京国立博物館所蔵の白河文書中のものです。文安六年は一四四九年、今から五百四十九年以前に当たります。

この時期、結城白川氏は白川郡のほか石川以下八郡に及ぶ検断職にあり石川氏との対立を深めていました。赤坂鶴寿丸は、すでに明徳二年（一三九一）、結城満朝と一揆同心（盟約）を結んでいました。この時「赤坂氏の領地を経て、白川氏が蒲田城を攻め、領主蒲田冠者を破り、蒲田家相伝の文書及び誓書を奪い、一切の所領を手中に収め、浦田城を破却した」と古殿町史は記しています。

これによって蒲田氏文書の一切が結城白川氏に没収され「東京大学白川文書」の名のもと今日に伝えられています。

蒲田道印証文

蒲田の文書、殊に同所領とくら（戸倉）上かきり（限り）侯てにし（西）山の事は進上申し候
此本館まわりの事は、名字のち（地）と申す御判をいただき申すべく候、仍て彼状証文のためにくだんの如く申上げ候
文安六年十一月廿四日
（蒲田）沙弥道印（花押）
白川（直朝）殿



解説にあるとおり、ここで石川一族の蒲田氏は白川氏に亡ぼされたことになります。氏が亡ぼされるということは、相伝の文書（この中にはもちろん所領所有に係わるものをはじめ、一氏の存立を支える重要な書類があります）とともに居城を破却し、所領を渡さねばなりません。戸倉を境として西山の地は進上するものの、館周辺の地は名字の拠る地として与えてほしい旨を含めての誓いの証文となっています。御判は「判物」、所領と認めることをさします。

戸倉、西山の地が蒲田氏の所領であったことを明かす大事な史料ということができると同時に、「とくら・にし山」などが、すでに中世において存立していたことを知ることができます。この後、文明十六年（一八四八）に至り、赤坂・大寺・小高の諸氏も石川氏を離れ、白川氏を称することになっていきます。

たばこは村内で買いましょう　たばこには「たばこ税」という間接税があります。平成9年度







9月号の取り組みが新聞紙上で紹介

十月四日（日）、福島民報新聞の一面「あぶくま抄」のコーナーで、「広報さめがわ」九月号の特集「役場のイメージ向上宣言」の取り組みについて取り上げられました。その内容を紹介します。

◇　◇

「あぶくま抄」

われわれの生活と密着している地方自治体は、もっとも身近なお役所だ。住民の生活環境の整備や文化などさまざまなサービスの対価として、税金を払っている。市役所や町村役場の商品はサービスである。でもサービス産業にしては愛想がよくないし、職員の態度に問題ありという声が聞かれる▼そのせいか最近、県内の自治体で接遇向上に取り組むところが出てきた。先日、届いた鮫川村の広報は、今月号で「役場のイメージ向上宣言」と題した特集を組んでいる。その中に役場についての印象を村民に聞いたアンケートの結果が出ている。それによると役場の雰囲気について、半数以上の人が「入りにくい雰囲気がある」と答えている。この特集のユニークさは、調査結果をもとに、仮想座談会を開いていることだ。▼内容を紹介してみる。「入口を入ると、みんなが一斉にこちらを向くので嫌な感じですね」「建物の構造上、仕方ないかことかも知れませんが、窓口が一段高くなっているせいか上から見下ろされる」。職員の対応では「親切な人もいれば、威張っている人もいる」「あいさつしない職員が見受けられます」。役場は「役人の場所ではなく、役に立つ場所が基本」▼村が広報で自らの痛みをさらけだして、イメージ向上に取り組む姿勢はいい。PR雑誌と変わらない行政広報紙づくりに食傷気味だっただけに、辛口な紙面を面白く読ませていただいた。職員の座談会があれば、なおよしである。

普段あなたが考えていること、村づくりに関する意見、提案など、皆さんの声をお寄せください。（住所・氏名明記、紙上匿名可）
〒963－8401 鮫川村大字赤坂中野字新宿39－5　鮫川村役場「広報さめがわ」行　FAX 49－2651

募集

ガイドポスト（道しるべ）デザインコンテスト

本地域は、農山村の原風景を今に残し、近年、これらの風景に触れるため首都圏からの観光客が増えています。

鮫川村と塙町では、観光客のスムーズな通行のため、道の要所にガイドポスト（道しるべ）を設置することにし、次によりデザインを募集することにしました。

アイディアあふれるデザインを多数お待ちしています。

〔主催〕 鮫川村・塙町

〔募集内容〕 ガイドポストとして、次の機能を有していること

①本地域の景観にマッチしたデザイン・色彩であること

②「道しるべ」として十分に機能するものであること

③案内先の増加、減少が容易に変更できるもの

〔応募資格〕 どなたでも応募できます。（個人、グループ、団体など、特に制限ありません）

〔応募方法〕 日本工業規格B4判程度の任意の用紙を使用し、1枚1点とする。

用紙には、①デザイン図・配色、②機能等説明、③氏名（ふりがな）、④住所、⑤電話番号、⑥性別、⑦年齢、⑧職業（または学校名と学年）を明記し、郵送、または持参してください。

なお、作品は自作で未発表のものに限ります。また、1人何点でも応募できます。

〔応募締め切り〕 平成10年12月18日（金）必着

〔選考〕 12月下旬に審査会を開き、入賞作品を選考します。

〔賞〕 最優秀賞1点（賞状、副賞10万円）優秀賞1点（賞状、副賞5万円）入選3点（賞状、副賞1万円）

〔発表〕 平成11年1月に、入賞者に直接通知します。表彰式は平成11年3月ごろ行います。

〔その他〕

①最優秀作品はデザイン補正後、地域のガイドポスト（道しるべ）として製作・設置します。

②応募作品は返却しません。

③入賞作品の使用などに係る一切の権限は、鮫川村および塙町に帰属します。

〔応募・問い合わせ先〕

〒963－8401 鮫川村大字赤坂中野字新宿39－5 鮫川村役場企画調整課（☎内線221）

開館時間は、午前8時45分～午後零時15分までとなります。　**問い合わせ**／歴史民俗資料館（☎49－3016）

休日の当番区

月日(曜)	病・医院名	所在地	電話番号
10/18(日)	和田医院	棚倉町	33-2012
	石川医院	塙町	43-0003
	大野病院	石川町	26-1181
10/25(日)	勝田医院	棚倉町	33-3008
	木村医院	矢祭町	46-3528
	原外科医院	石川町	26-1423
11/1(日)	大木医院	棚倉町	33-2424
	金沢医院	矢祭町	46-2312
	中島病院	石川町	26-3415
11/3(火)	東白川中央病院	棚倉町	33-3263
	東舘診療所	矢祭町	46-3165
	大野病院	石川町	26-1181
11/8(日)	藤田医院	棚倉町	33-2013
	中島医院	塙町	43-0373
	添田医院	石川町	26-2538
11/15(日)	あらまちクリニック	棚倉町	33-8018
	車田病院	塙町	43-1019
	中島病院	石川町	26-3415
11/22(日)	緑が丘診療所	棚倉町	33-9468
	塙厚生病院	塙町	43-1145
	三瓶胃腸科医院	石川町	26-1234

ごみ収集日

収集場所	種別	10月	11月
江竜田～中野町～福原～鍬木田～広畑～新宿～道少田～大塩コース	可燃物	1.5.8.12.15 19.22.26.29	2.5.9.12.16 19.26.30
	不燃物	2.16.30	13.27
さぎり荘～村営住宅赤坂中野団地コース	可燃物	1.5.8.12.15 19.22.26.29	2.5.9.12.16 19.26.30
	不燃物	14.28	11.25
鮫川分校(不燃物のみ) 鮫川中学校コース	可燃物	1.5.8.12.15 19.22.26.29	2.5.9.12.16 19.26.30
	不燃物	1.15.29	12.26
関下～越虫～青生野小学校～世々麦～葉貫～蕨ノ草～中沢～関口コース	可燃物	7.14.21.28	4.11.25
	不燃物	14.28	11.25
真坂～押目～酒垂～塚本～荻ノ沢～折戸～水口～官沢コース	可燃物	7.14.21.28	4.11.25
	不燃物	1.15.29	12.26
官代～遠ケ竜～大石草～大根屋敷～内ケ竜コース	可燃物	7.14.21.28	4.11.25
	不燃物	2.16.30	13.27
石井草～大久保～鬼越～赤柴～沼野沢～岩野草～薄ケ久保コース	可燃物	7.14.21.28	4.11.25
	不燃物	23	20

労働

ふくしま大卒等合同就職面接会

〔対象〕 来春、大学・短大・専修学校などを卒業予定で、県内企業に就職を希望する学生
〔日時・場所〕 ①いわき会場…10月27日（火）午後1時～4時・新瀧（いわき市平）②郡山会場…11月4日（水）午後1時～4時・ビックパレットふくしま（郡山市安積町）
〔内容〕 企業による面接選考を行うほか、公共職業安定所による就職相談。履歴書を持参。
〔問い合わせ〕 県職業安定課（☎024-521-7304）

相談

心配ごと相談

〔日時〕 11月20日（金）午前10時～午後3時（午後1時からは弁護士が相談を受けます）
〔場所〕 山村開発センター

行政相談

〔日時〕 11月20日（金）午前10時～午後3時
〔場所〕 山村開発センター
〔相談員〕 赤坂基（中野町）

秋季全国火災予防運動

「気をつけて　はじめはすべて　小さな火」。
火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、11月9日から15日までの7日間、「秋季全国火災予防運動」が実施されてます。

火の用心7つのポイント

①家のまわりに燃えやすいものを置かない。
②寝たばこやたばこの投げ捨てをしない。
③天ぷらを揚げるときは、その場を離れない。
④風の強いときは、たき火をしない。
⑤子供には、マッチやライターで遊ばせない。
⑥電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない。
⑦ストーブには、燃えやすいものを近づけない。

〔問い合わせ〕棚倉消防署鮫川分署（☎49-2119）

身体障害者巡回相談

〔日時〕 11月17日（火）
〔場所〕 県南保健所棚倉支所
〔対象〕 肢体不自由者
〔その他〕 相談希望者は、住民課福祉係（☎内線234）に事前連絡が必要です。

寄付・寄贈

（敬称略）

▼社会福祉事業のために（金員）…鈴木一良（新宿）本郷栄（沼野沢）根本日出雄（岩野草）棚倉田舎倶楽部（棚倉町）**▼ひだまり荘・幼稚園に**（お手玉・ひだまり荘77個、幼稚園70個）…東石老人クラブ**▼8・27大雨災害義援金**（日赤福島支部へ・合計232、319円）…根本三郎、ひだまり荘親睦会、鮫川幼稚園保護者会、富田小児童会、民生委員協議会、村赤十字奉仕団、役場庁員クラブ、ほか役場窓口募金箱

資料館図書室・土曜日の開館時間 11月から来年4月までの期間中、歴史民俗資料館図書室の土曜日の

平成10年10月号 No. 538
発行・編集／鮫川村役場総務課
〒963-8401 福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39-5
TEL (0247)49-3111 FAX (0247)49-2651
印刷／佐藤印刷所

ふるさとのむかし話 ⑦

サルの供養

むかしむかし、東の方の山に大きな木が一面にしげり、シカやイノシシ、そしてタヌキなどがたくさんいたころ、二人の仲の良い狩人がいました。そして、狩りに行くときはいつでも一緒に出かけたそうです。

ある時、片方が「今まで仲良く狩りをしてきたが、まだ、山ザルを捕ったことがない。今度はひとつ山ザルを捕ってみよう」と言いました。もう片方が「でもサルは、昔から撃つものではないと聞いているし、何かのたたりでもあると困るからよしたほうがいい」と言うと、「なあに、山に住んでるケダモノが、人にたたるなんてあるものか。そんなことをいちいち気にしていたんでは何もできねえ」と、片方が強引に押しきり、二人はとうとうサルを捕ることに決めました。そして朝から、山から山へとサルの居場所を探しましたが、なかなか見つかりませんでした。



二人があきらめて家に帰ろうとすると、大きな木の上でサルのなき声がするではありませんか。二人は「いたいた」と大喜びで鉄砲を向けました。その時、サルは二人に向かって両手を合わせ、まるで人間が「撃たないでくれ」と拝んでいるようでした。しかし、二人はそんなことはかまわず、狙いをつけ「バーン、バーン」と、サルを撃ちとってしまいました。そして、撃ちとったサルを見てみると、身ごもっていたのでした。

すると、その年の春から気候が不順で、夏になっても寒い北風が吹き、冷たい雨が毎日のように降り続き、これが秋まで続き、その年は、米はもちろんソバやヒエ、そして大豆や粟も、みな実が入らず、大凶作となってしまいました。

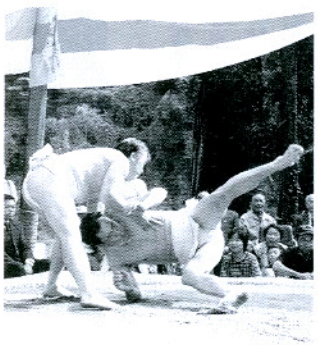
これを聞いた庄ノ草の人たちは、こんな悪い凶作になったのは、サルのたたりに違いないと、道ばたに小さな供養の塚をたて、一年に何度か集まってはサルの供養をしたそうです。

それからは、ひどい凶作もなく、農作物もよくとれるようになり、だんだんと豊かになり、その塚は庚申様と呼ばれるようになったということです。

あとがき

今月号では、十月十日の体育の日にちなみ、スポーツに関する座談会を開催しました。出席者の皆さんからは、もっと多くの人たちにスポーツを楽しんでもらいたいということで、さまざまな意見が出されました。座談会の予定時間も超え、終了後も話が尽きないほどでした。スポーツの楽しさを多くの人に伝えたい。そんな気持ちがあるからでしょう。紙面の関係上、全部紹介できないのが残念です。（舟木）

今月の表紙



10月4日、恒例の「赤坂西野区ふるさと相撲大会」が熊野神社境内で開かれました。大人が参加する飛び3人抜き、5人抜き、初切相撲、小学生によるトーナメント戦が行われ、大相撲顔負けの迫力ある取り組みが披露されました。